

令和4年度 第10回鳳来中部地域協議会 会議録

日 時	令和5年3月23日（金） 午後7時～午後8時30分	場 所	新城市開発センター 3階 大会議室
出席者	委員 19名		
	事務局 4名		
欠席者	3名	傍聴者	なし
議題・議事・発言等			
<p>1 あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p>（1）令和4年度鳳来中部地域自治区関係事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">①地域自治区予算事業の執行状況について</p> <p style="margin-left: 20px;">②地域活動交付金事業の状況について</p> <p>（2）令和5年度鳳来中部地域協議会委員について</p> <p>3 議事</p> <p>（1）鳳来中部地域自治区地域計画推進体制（案）について</p> <p>4 その他</p> <p>（1）令和5年度第1回地域協議会について</p> <p style="margin-left: 40px;">日時 令和5年4月21日（金）午後7時から</p>			
会議内容			
<p>1 あいさつ</p> <p>原田哲夫会長</p> <p>議事に先立ち会長から、議事録署名委員として中村和宏委員と内藤佳一委員を指名した。</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和4年度鳳来中部地域自治区関係事業について</p> <p>○事務局より、資料に沿って報告。</p> <p>①地域自治区予算事業の執行状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆ～ゆ～ありいな助成事業、AED設置管理事業、長篠城史跡活用事業については、年度末までが事業期間となっているため継続中。 ・その他すべての事業が計画どおり順調に実施された。 ・ゆ～ゆ～ありいな利用助成事業の利用実績 ⇒156人（2月末時点） ・貸し出し用自走式草刈り機の利用実績 ⇒1回（2月末時点） ※点検を兼ねて観光課などで年数回利用 <p>②地域活動交付金事業の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は8団体が採択され、うち6団体が事業を完了。 ・内金組住民会（2月28日事業完了）、長篠城歴史ボランティアの会（3月事業完了予定）となっているため、今後実績報告が提出される予定。 ・5月8日（月）から31日（水）までの間、新しい鳳来総合支所の市民センターのラウンジで成果報告資料の展示予定のため、是非ご覧頂きたい。 <p>【質疑応答】</p> <p>特になし</p> <p>(2) 令和5年度鳳来中部地域協議会委員について</p> <p>○事務局より、資料に沿って報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでにご報告頂いた方を名簿に記載している。 ・まだご報告頂いていない委員については、お早めに承諾書をご提出いただくようお願いしたい。 			

- ・一部では委員がまだ決まっていない場合があるため、その場合は会議終了後事務局まで報告してほしい。

【質疑応答】

特になし

3 議事

(1) 鳳来中部地域計画推進体制（案）について

○事務局より、資料に沿って説明。

- ・前回の地域協議会にて、推進体制のイメージについて意見交換していただいたところ、体制全体について概ね賛成という意見であった。
- ・その後、地域計画推進委員会からも意見をもらって、地域計画推進体制検討会で体制（案）をまとめた。
- ・推進体制の概要については、以下のとおり。

「地域協議会」

意思決定機関と位置づけ、区長9人に大字長篠理事長と乗本総代を加えた11人で構成する。

「地域計画推進組織」

地域自治区の立案組織として、現在の地域計画推進委員会を母体とし、地域からの推薦や地域の組織、団体から選出された委員で組織します。なお、推進組織には調整部会と推進部会を設置し、推進部会の中に自治推進分科会、福祉充実分科会、地域活性分科会を設置する。

- ・若者の声を地域計画の推進に活かすため、メンバーに若者を加える。

「鳳来中部地域自治区の事務所について」

- ・地域自治区独自の事務所を設置し専属の事務員を置く。この事務所では地域計画推進のマネジメントと共に、地域の組織、団体をサポートする。

「その他」

- ・この体制を実現する際は各行政区の総会で承認を頂く必要があると考えている。体制の移行は早くても令和7年度からと考えているため、各行政区の令和6年度総会（令和7年2月）に諮ることを検討している。

【質疑応答】

「委員」

- ・事務所を設置するとなっているが、事務局などの人選はどう行うのか？

⇒今現在は具体的には決まっていない。今後検討予定。

今回の提案は理想像なので、1つ1つクリアして実現に向けて進んでいきたい。

「会長」

- ・組織の連携を図る必要がある。

「委員」

- ・協議会は11名でどう行うのか？会長や副会長はいるのか？

⇒少人数に人数を絞って行う方向で検討。従来どおり会長・副会長は置く。

「委員」

・各組織はそれぞれの分野で活動している。団体代表者で協議することも考えてはどうか？各分科会ごとでの話し合う場面も必要だと思う。

⇒それぞれ分野ごとで協議。地域全体で話し合う場を作ることも考えている。

推進組織は、多くて30名程度を想定。必要な場面で関係者にも来てもらう。

型にはまらず、楽しみながら協議していきたい。

「会長」

- ・たたき台を市長に提案して、その後修正は可能なのか？

⇒提案をした後も修正すべき点はその都度修正し、実現性の高いものにしていく。

「委員」

- ・地域とは狭い意味なのか？広い意味なのか？

⇒鳳来中部地域自治区で一体感を持って活動をしていくイメージ。9行政区を1つの地域としてとらえる。

(例) 盆踊り→各地区だったものを全体で実施することで、盛り上がりや役員の負担軽減にもつながる。

「委員」

- ・令和7年度に移行を検討しているが、各構成員の任期などはどうするのか？長く関わってもらいたいではないか？
- ⇒協議会委員は2年任期と決まっている。推進組織については、地域計画推進委員会を母体として組織する。推進委員会は任期を定めていないが、各団体から参加してもらいとなると、それぞれの任期がある場合がある。推進委員会のような任期の長い委員と各団体選出の任期の短い委員で組織する予定。各団体選出の委員には、地域との連携を図る役目を行ってほしい。これまで地域計画推進委員会では、先進的な提案があったが、地域との連携が薄い部分があった。推進組織としては、活動の継続性・地域との連携を持てるようにしていく。

「事務局」

- ・推進体制の実現に向けては労力がかかる。
- ・各行政区へ伺う場合もあるため、2年後を目指して鳳来中部でこんな動きがありそうということを申し送りしてほしい。

「会長」

- ・市長へ答申するが、今後も修正を重ね、より良いとしていきたい。

【採決】

賛成多数のため、承認となる。

「会長」

- ・地域協議会や地域自治区全体についてご意見があれば伺いたい、いかがか。

「委員」

- ・来年度へ引き継ぐために、自治区予算と地域活動交付金がどういうものでどんな手続き方法が必要なのか？など分かるものはあるのか？
- ⇒第1回の資料に概要をまとめたものがある。1度事務局まで問い合わせいただきたい。

「委員」

- ・地区によっては、コピー機がないなどの困りごとがある。こういうものに地域活動交付金を活用してもらいなど具体的な使用例を示すといいかもしれない。
- ⇒「自治区予算：市の事業、地域活動交付金：地域でやるべきこと」というすみ分けで考えてもらえるといい。自治活動備品の整備など場合によってはどちらか悩む案件もあるのが実状。

「会長」

- ・地域自治区予算や地域活動交付金に関する困りごとがあれば、事務局へ確認してほしい。
- ・自治区制度が廃止にならないように、制度をうまく活用していければと思う。

4 その他

- (1) 令和5年度第1回地域協議会について
令和5年4月21日（金）午後7時（案）
- (2) 鳳来中部防災大作戦 vol. 2 について
小中学校で季節性のインフルエンザが流行しているため、大事をとって延期とする。新年度新庁舎が完成した後に、実施を検討している。

事務所長のあいさつ、閉会
(終了 午後7時55分)